

## 目標達成計画

作成日: 平成 26 年 4 月 1 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	事業所の実践している認知症の方の理解や支援方法を地域に向けて活かすことができていない。	地域との交流をする中で、認知症の理解や認知症介護について考える場を設ける。介護者の	防災訓練や行事等に参加していただき認知症の理解や介護について研修、寸劇を行い、理解や技術を深めていく。認知症介護について、家族介護教室の開催	12ヶ月
2	20	外出をする機会が少なく一人一人の馴染の人や場所との関係の維持が難しい。	一年間を通して入居者の方の地域での行事や催し物へ参加できる機会をつくり、馴染の方々との交流ができる。	入居者の方の地域の催し物や行事を把握し参加可能なものを取り上げ計画する。あらかじめ家族や地域の方々と調整を行う。	12ヶ月
3	13	外部研修後、現場で研修の成果が十分に発揮されていない。他の職員への指導もできていない現状である。	外部研修後、勉強会にて他の職員へ報告を行う。その後も引き続きフォローアップ研修を内部で行い、職員一人一人が実践できるようになる。	外部研修後報告書を提出し、ミーティングにおいて勉強会を兼ねて報告する。その後、定期的にフォローアップ研修にてステップアップ研修を行う。(職員が講師になる)	12ヶ月
4	26	サービス計画作成における本人、家族、職員等の話し合いの機会がなかなかもてない。	3ヶ月に一度、もしくは状況が変わったとき等家族、本人、職員とモニタリングを行い、思いや希望等聞けるような話し合いの場をもてる。	毎月の職員間のモニタリングをもとに3ヶ月ごとに家族とカンファレンスを行い意見やアイデアの盛り込めた介護計画が作成できる。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。